

【トピックス】

安心した地域での生活を支える山陰道

自動車が必要な移動手段である萩市では、高速道路は安心した地域での生活を支える重要な役割を担っています。例えば萩市と長門市をつなぐ高規格幹線道路山陰道は、三見地区から市街地への買い物、通院、通勤などを容易にするとともに、雨や雪にも負けない信頼性の高い通行機能を発揮しています。

一方、萩市と益田市間の唯一の幹線道路である国道191号は災害に弱いことに加え、通行止めの際の有効な迂回路もありません。こうした状況にある須佐地域、田万川地域から益田市の救急医療機関への搬送時間は30分以上を要するとともに、急カーブによる揺れや振動で傷病者に負担がかかっています。

私たちの安心した暮らしには、万が一の時に確実に、かつ高い機能を発揮する高速道路が必要です。また高速道路は、災害時の避難・支援、通院・通所サービスの拡充など、保健・医療・福祉分野において大きな効果を発揮することが期待されています。

